

本のぽけっと

5・6年生に
おすすめする本

市川市立図書館

こまいぬ さすけ
狛犬の佐助

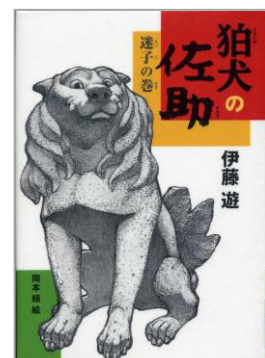
まいご
迷子の巻

いとうゆう
伊藤遊／作

おかもとじゅん
岡本順／画

ポプラ社

しゃべる狛犬？



あけの 明野神社の2匹の狛犬には150年前に狛犬を彫った石工の魂が宿っています。お社に向かって右側の「あ」には親方の魂、左側の「うん」には弟子の佐助の魂が入っています。2匹の狛犬はいつもおしゃべりをしていました。この狛犬と話ができるのは数え年7歳になる前の子どもか、100歳を超えた大人だけでした。神社にはいろいろな人がやってきましたが、優しい性格の佐助にはこの中に気になる青年がいました。飼い犬のモモがいなくなって悲しんでいる耕平です。佐助はある日、偶然にモモの居場所を知りました。耕平と話すことができない佐助は、まず幼稚園児の翔太に必死にこの事を伝えようとします。はたして、無事にモモは見つけられるのでしょうか。

うみべ たから
海辺の宝もの

ヘレン・ブッシュ／著

とりみまさお
鳥見真生／訳

さたけみほ
佐竹美保／画

あすなろ書房



イギリスのライム湾の近くに住む少女メアリーは、学校の勉強やお友達と遊ぶより父さんから教わった「変わり石」集めをするのが大好きでした。けれども、父さんが突然に病気で亡くなってしまい、メアリーは海辺でアンモナイトやヒトデが固められた「変わり石」を採集しては、観光客に売って家計を助けるようになります。ある日、大英博物館の科学者の先生がやってきました。メアリーは、宝ものとよんでいた「変わり石」は化石というもので、大変貴重な発見だと知らされます。その後、彼女は科学者の先生の助手になり、化石さがしに生涯をささげたのです。

ふね
舟をつくる

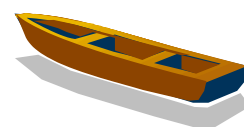
せきのよしはる
関野吉晴／監修・写真

まえだじろう
前田次郎／文 徳間書店

はるか昔、人類はアフリカで誕生し、世界中に移動していきました。その中には海を渡って日本にきた人たちもいます。大学教授の関野吉晴さんは、そのルートを当時と同じように旅することにしました。関野さんの呼びかけに応じた学生たちと、その時使われていたと思われる舟を道具から手作りするのです。九十九里浜で集めた砂鉄を溶かして鋼にし、鍛えてオノやナタなどを作ります。

それを持ってインドネシア・スラウェシ島に行き、地元の船大工たちに教わりながらの舟づくりが始まりました。舟が出来上がっていく工程をたくさんの写真で見ることができます。

舟のつくり方、知っていますか？



公平、いっぱつ逆転！

福田隆浩／作

小松良佳／絵

偕成社



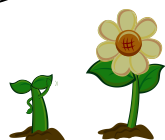
気弱な小学5年生の公平は、新しい家に引越してきたばかり。新しい学校でいじめられるのではないかと不安でいっぱいだった。ところがなんのまちがいか、家にラブレターは届くし、学校のみんなは公平を空手の達人だと思っていた。そのせいで児童会長の長州に目をつけられてしまう。長州は学校の温室をたまり場にしてグループをつくり、好きほうだいに弱いものいじめをしているのだ。本当のことが言えなくなってしまった公平は、事情を知るクラスメイトの委員長や由美ちゃんとトレーニングを始める。みんなの温室を取り戻すため、相撲大会で長州と対決するのだ！



自分だけの秘密の家…

どうしてぼくが！？

マンディ



ジュリー・アンドリュース／作

青柳祐美子／訳

小学館



マンディは、孤児院で暮らす10歳の女の子です。ある日森の中で、誰も住んでいない小さな家を見つけました。マンディは、誰にも話さず自分一人で家の手入れをすることに決めます。お金をやりくりして庭に植える花の苗木を買い、孤児院の庭仕事の道具や食器を持ち出して家を整えていきます。この家のために働くことは、マンディにとって楽しい時間でした。しかしそのために嘘をつき、外出禁止の罰を受けることになりました。雨の中を抜け出したマンディは森の家で高熱を出し倒れてしまいます。



「本のぽけっと」は、図書館から小学生のみなさんにおすすめしている本のリストです。

年に2回、最新号と基本版を各市立小学校に配布、市立図書館、関連施設でも配布しているほか、

バックナンバーはホームページでもご覧いただけます。また、ここで紹介している本は市川市の図書館で借りることができます。

中央図書館 平田図書室 自動車図書館 行徳図書館 信篤図書館 南行徳図書館 市川駅南口図書館

